

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2002-155403

(P2002-155403A)

(43) 公開日 平成14年5月31日 (2002.5.31)

(51)Int.Cl. ⁷	識別記号	F I	テーマコード*(参考)	
A 4 1 C	3/10	A 4 1 C	3/10	A
	3/12		3/12	A
	3/14		3/14	A

審査請求 有 請求項の数 4 書面 (全 3 頁)

(21) 出願番号 特願2000-393775 (P2000-393775)

(22) 出願日 平成12年11月21日 (2000. 11. 21)

(71) 出願人 500160413

株式会社ケーシーエス

横浜市保土ヶ谷区常盤台80-13

(72) 発明者 平 廣遠

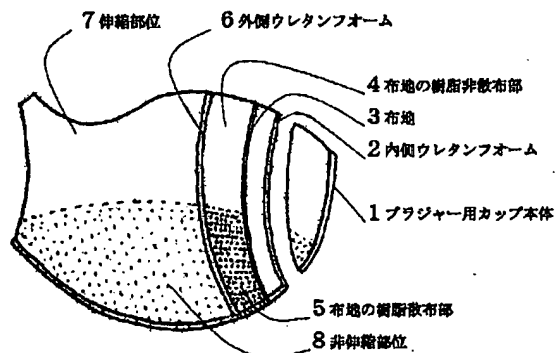
千葉県我孫子市青山台4-13-3

(54) 【発明の名称】 ブラジャー用カップ

(57) 【要約】

【課題】着用時ソフトで通気性がよく、常に望ましい位置に両乳房を保持し、更に動作性が良い。

【解決手段】外部の応力により伸縮或いは変形しうる布地3を芯にして、その内側と外側にウレタンフォーム2及び6を積層する構造にあって、布地3の下乃至側方の部位5に熱硬化樹脂液を散布し熱成形して非伸縮部位8を作る。



【特許請求の範囲】

【請求項1】外部応力により伸縮或いは変形しうる布地3（以下布地）を芯にして、その内側と外側に各々ウレタンフォーム2及び6を積層する構造にあつて、ブラジャー用カップ本体1の下方乃至側方の非伸縮狙いの部位8に位置する布地3の部位5に熱硬化樹脂液を散布し、次いでウレタンフォーム2及び6と布地3との接触面に接着剤を散布し熱成形して、上方の伸縮部位7と、下方乃至側方の樹脂によって伸びが止められた非伸縮部位8とから構成されるブラジャー用カップ。

【請求項2】請求項1において、非伸縮部位8の配置はブラジャーの型及びブラジャーの被覆素材特性等に応じて、又伸縮部位7の伸縮力と伸縮量は布地3の伸縮特性を選択することによって随意に設定できる。

【請求項3】請求項1において、布地3の種類については、織物、編物、組み物、或いは不織布等が含まれる。尚バイヤス方向に伸縮する織物も含まれる。布地3の組成については、ポリエステル、ナイロン等の熱可塑性素材が望ましい。

【請求項4】請求項1において、工程の都合上、熱硬化樹脂液を散布した布地3のみを事前に熱成形することも含まれる。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、婦人用ブラジャーの乳房部に使われるブラジャー用カップに係るものであり、詳しくは熱成形して伸縮部位と非伸縮部位で構成されるブラジャー用カップに関するものである。

【0002】

【従来の技術】従来のこの種のブラジャー用カップとしては、主に厚みのあるポリエステル不織布を熱成形して製造される非伸縮性タイプと主に厚みのあるウレタンフォームを熱成形して製造される伸縮性タイプが一般的である。又縫製タイプでは非伸縮性布地と伸縮性布地をつなぎ合わせているものがある（例えば、特開平11-12807号公報参照）。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】従来の技術で述べたものの内、非伸縮性タイプは着用時乳房の逃げ場がなく、着用感並びにフィット性に問題がある。

【0004】また、伸縮性タイプは伸縮性が全部位にわたっているため、着用時乳房の望ましい位置保持が困難な問題がある。

【0005】又、縫製タイプは立体成形するのに手間が掛かり仕上りも美しさに欠ける問題がある。

【0006】本発明は、従来の技術の有するこのような問題点を解決すべく行われたもので、その目的とするところは、着用時感触が外部と内部いずれも粗硬でなく柔軟で好感触、且つ、美しい形に仕上るとともに、常に望ましい美しい位置に両乳房を保持し、更に、動作性が良

いブラジャーを製造するためのブラジャー用カップを提供しようとするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本発明におけるブラジャー用カップは、外部応力により伸縮或いは変形しうる布地3（以下布地）を芯にして、その内側と外側に各々ウレタンフォーム2及び6を積層する構造にあつて、ブラジャー用カップ本体1の下方乃至側方の非伸縮狙いの部位8に位置する布地3の部位5に熱硬化樹脂液を散布し、次いでウレタンフォーム2及び6と布地3との接触面に接着剤を散布し熱成形して、上方の伸縮部位7と、下方乃至側方の樹脂によって伸びが止められた非伸縮部位8とから構成される。

【0008】上記の非伸縮部位8の配置及び伸縮部位7の伸縮力と伸縮量については、ブラジャーの型及びブラジャーの被覆素材等に応じて、又布地3の伸縮特性を選択することによって、随意に設定できる。

【0009】布地3には、織物、編物、組み物、或いは不織布等何れも使用できるが熱硬化樹脂液を散布し加熱したときにこれらの繊維集合体の交絡部が固着され布地が伸縮性から非伸縮性に転化するものを選ぶ必要がある。尚バイヤス方向に伸縮する織物も含まれる。布地3の組成については、熱成形し易いポリエステル、ナイロン等の熱可塑性素材が望ましい。

【0010】製造工程の都合上、熱硬化樹脂液を散布した布地3のみを事前に熱成形し、別工程でウレタンフォームとの接着を行っても良い。

【0011】

【発明の実施の形態】考案の実施の形態について図面を参照して説明する。図1、図2、図3において図1は下方に非伸縮部位を有する向かって左側のブラジャー用カップの正面図で一部分解図が含まれており、図2はその断面図である。図3は下方乃至側方に非伸縮性部位を有する向かって左側のブラジャー用カップの正面図である。内側ウレタンフォーム2は1.5mm厚さ、外側ウレタンフォーム6は3.0mm厚さ、布地3は経緯各々伸度約30%、目付約70g/m²のポリエステルニードルパンチ不織布である。各々を熱成形で接着成形する前の工程で、布地3の下方乃至側方の部位5に熱硬化樹脂液を散布し、内側及び外側のウレタンフォーム2、6の各接着面に接着剤を散布して、布地3を芯にして貼り合わせ数分間熱成形することによって、布地3の樹脂非散布部4の部位は伸縮部位7に、布地3の樹脂散布部5の部位は熱によって樹脂が硬化し布地3の繊維の交絡部のみが固着されて通気性を有する非伸縮部位8に、内側ウレタンフォーム2と外側ウレタンフォーム6に接着構成される。

【0012】本発明の実施に直接関係するものではないが、必要に応じて上述のカップの外側と内側に、伸縮性のあるポリエステル加工糸使いの平編地或いはトリコッ

ト編地等を貼り付けて製品化することができる。

【0013】

【発明の効果】本発明は上述のとおり構成されているので、次に記載する効果を奏す。

【0014】請求項1のブラジャー用カップにおいて、下方乃至側方の部位が非伸縮性に、上方の部位が伸縮性に構成されているので、ブラジャーに仕上げられて着用した時に、下方乃至側方の非伸縮部位での乳房の保持が確実で垂れ下がり又は側方への逃げを防止するので、常に望ましい美しい位置に両乳房を保持することができる。

【0015】更に上方の伸縮部位は布地の伸縮性とウレタンフォームの伸縮性が関与するので動作性に優れている。

【0016】更に粗硬な布地は内層部に封じ込められており、柔軟なウレタンフォームが肌側及び外側に面しているので好感触が得られる。

【0017】更に布地の繊維間固着及びウレタンフォー

ムとの接着は何れも部分接着なので通気性が保持される。

【図面の簡単な説明】

【図1】下方に非伸縮性部位を有する向かって左側のブラジャー用カップの正面図であり要部断面図である。

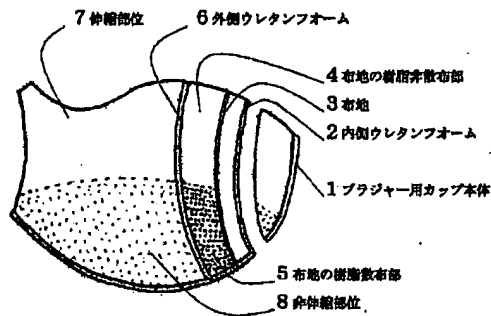
【図2】ブラジャー用カップの断面図である。

【図3】下方乃至側方に非伸縮性部位を有する向かって左側のブラジャー用カップの正面図である。

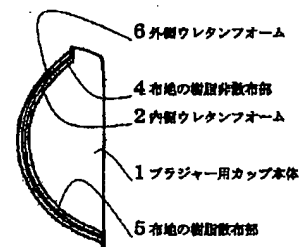
【符号の説明】

- 1 ブラジャー用カップ本体
- 2 内側ウレタンフォーム
- 3 布地
- 4 布地の樹脂非散布部
- 5 布地の樹脂散布部
- 6 外側ウレタンフォーム
- 7 伸縮部位
- 8 非伸縮部位

【図1】



【図2】



【図3】

